

各関係機関の長 様

滋賀県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報（特殊報第1号）について

このことについて、以下のとおり発表したので送付します。

平成23年度病害虫発生予察特殊報第1号

平成23年(2011年)10月14日
滋 賀 県

1. 病害虫名：トビイロシワアリ *Tetramorium tsushimae* (Emery)
2. 作物名 キャベツ・ブロッコリー
3. 発生経過
 - (1) 平成23年9月に近江八幡市のキャベツ栽培ほ場、およびその近隣に位置する東近江市のブロッコリー栽培ほ場各1筆で、株が萎凋し枯死する症状が発生した。被害株の地際の土を取り除くと、多数のアリと食害痕が確認された。本県では、アリ類によるこれらの作物への被害が確認されたのは初めてであった。
 - (2) 被害株から採取したアリについて、アリ類データベース作成グループの吉村正志氏に同定を依頼したところ、キャベツとブロッコリーを加害した種はいずれもトビイロシワアリであることが確認された。
 - (3) 本種は屋久島以北の日本各地に分布し、西南日本では最も普通に見られる種のひとつである。農作物に被害をもたらした事例は西日本を中心に6県から報告があり、キャベツ、ブロッコリーの他、ハクサイ、パレイシヨ、ナス(幼苗)およびアスターで被害が発生している。
4. 形態および生態
働きアリの体長は約2.5mm。体色は褐色から黒褐色。頭部および胸部の表面は縦じわに覆われる。雑食性で、昆虫などの屍体、雑草の子実や発芽直後の芽、植物の甘露、樹液などを食する。比較的乾燥した場所を好み、日当たりのよい裸地や草地などで、草の根元、石の下や腐朽木中に巣を作る。巣の規模は大きく、1つの巣に多数の女王を有する。
5. 被害の特徴
株元に土を盛り、主に地際の茎の表皮を食害し、くぼんだ食害痕を形成する。被害が進むと茎の外周が帯状に削り取られたような食害痕となる。食害を激しく受けた株は、萎凋、枯死する。
6. 防除対策
キャベツ、ブロッコリーおよびその他の農作物において、トビイロシワアリに適用のある農薬はない(平成23年10月14日現在)。
深耕による巣の破壊、ほ場周辺の除草など、物理的・耕種的防除に努める。
7. 参考文献
日本農業害虫大辞典、九州農業研究(1987)第49号 p.133、植物防疫(1966)第20巻 p.396、日本産アリ類画像データベース(WEBページ)、平成10年度病害虫発生予察特殊報第4号(福岡県)、平成19年度病害虫発生予察特殊報第5号(千葉県)、平成20年度病害虫発生予察情報 特殊報第1号(広島県)、平成22年度技術資料(香川県農業試験場)、平成22年度病害虫発生予察特殊報第2号(佐賀県)、平成22年度病害虫発生予察特殊報第2号(長崎県)

8. 写真



キャベツ栽培ほ場での被害の様子
(右側のうねで枯死株や生育不良株が目立つ)



ブロッコリー栽培ほ場での被害の様子
(左側のうねで特に被害が激しい)



キャベツの被害株
(地際にくぼんだ食害痕が認められる)



キャベツの地際に群がって食害する
トビイロシワアリ



食害痕の拡大(キャベツ)



トビイロシワアリ(働きアリ)

滋賀県病害虫防除所
<http://www.pref.shiga.jp/g/byogaichu/>
滋賀県近江八幡市安土町大中 516
TEL:0748-46-4926・6160
FAX:0748-46-5559
Email:GC70@pref.shiga.lg.jp